

奨学金制度について

奨学金は、年度当初に募集がかかるものが多いです。校内掲示に注意して自分から申し込む必要があります。また選考には在学時の成績、出席状況が影響する場合があります。特に給付型は貸与型に比べ、申請条件や選考に厳しい場合が一般的です。

次の表は、令和6年度に募集のあった奨学金の一例です。年度によって募集の有無、金額や申請条件などの変更がありますので、あくまでも参考例としてください。

申請時期・奨学金名	対象・人数・基準・内容	選考基準・備考
4月 神奈川県高等学校奨学生 (貸与型)	対象：全学年 人数：適格希望者全員推薦 基準：収入制限あり 内容：月額10,000円、20,000円	神奈川県教育委員会で選考 ★貸与型だが、特に成績が優秀な場合は返還が免除になる場合あり
第1回 5月 第2回 6月 第3回 7月 日本学生支援機構予約奨学生(給付型) (貸与型) ◎注意：進学後の給付です	対象：3学年(進学予定者) 人数：適格希望者全員推薦 基準： 給付型：成績・家計等に基準あり 貸与型第1種：成績・家計等に基準あり 貸与型第2種：成績・家計等に基準あり 内容：要項参照	機関で選考 ★第1種は無利子 第2種は有利子 ★卒業後は、進路先でも申し込みが必要
5～6月 中尾奨学財団奨学生 (給付型)	対象：第1学年 人数：1名推薦 基準：家族の年間収入420万円以下で 学術優秀 内容：月額15,000円給付	校内選考後応募し、財団で選考 ★採用人数は神奈川県全域で35名程度
5～6月 安全振興会修学奨励生 (給付型)	対象：全学年(3学年優先) 人数：1名推薦 基準：家計等に基準あり 内容：月額6,000円給付	校内選考後応募し、振興会で選考
6～7月 日教弘神奈川支部高等学校 給付奨学生(給付型)	対象：全学年(3学年優先) 人数：3名推薦 基準：成績優秀者で学費困難者 内容：年額60,000円給付	校内選考後応募し、弘済会で選考 ★卒業時に報告書提出
5～6月 横浜市高等学校奨学生 (給付型)	対象：全学年(保護者が横浜市在住) 人数：適格希望者全員推薦 基準：成績・家計等に基準あり 内容：月額5,000円給付	在学する高校を通して申請し、 横浜市教育委員会で選考 ★採用人数は860名程度
6～7月 相模原市奨学生(給付型)	対象：全学年(相模原市在住) 生活保護を受給していない 住民税の所得割額非課税世帯の 生徒 内容：年額最大10万円	申請書類を相模原市教育委員会学務課に提出、市教委で選考 ★随時申請あり(8月～2月)
11月 高村育英会(給付型) ◎注意：進学後の給付です	対象：3学年(大学短大進学予定者) 人数：1～2名推薦 基準：学費支弁が困難(詳細は要綱参照) 内容：月額50,000円給付	校内選考後応募し、財団で選考 ★採用人数は、神奈川県全域で10名程度